



動作環境確認 説明書 カメラ

Wi-Fiを使って通信するため、
設置場所で安定した通信状態が確保できるかの
確認が重要となります。

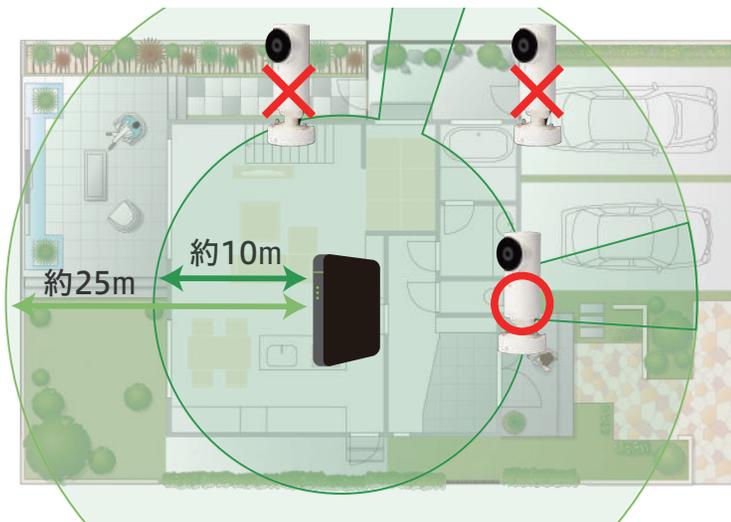


Wi-Fi通信 (対応商品 カメラ)



1.カメラ設置位置を確認

カメラを設置する場所を決めます。

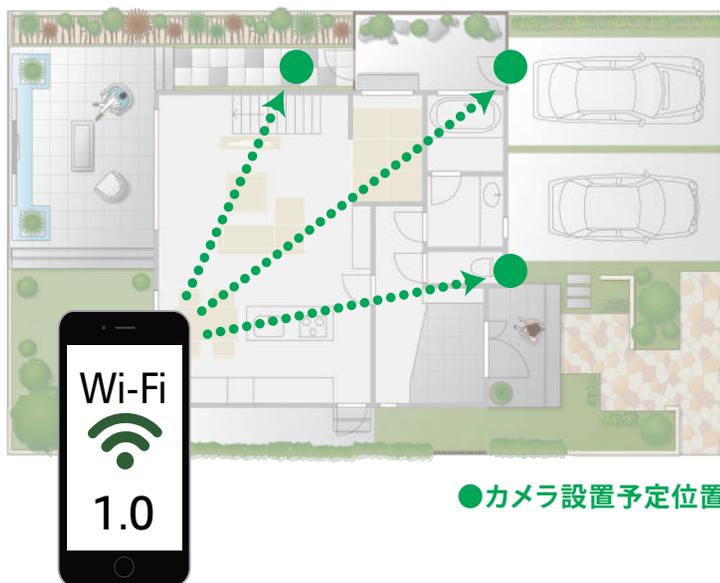


通信エリアの目安 障害物あり：約 10m
障害物なし：約 25m

2.Wi-Fi ルーターの位置を確認し、通信エリアの確認

①Wi-Fi導入前

Wi-Fi ルーターの設置予定場所を確認し、各カメラが通信エリア内に納まるか確認します。カメラと Wi-Fi ルーターの間に（壁など）障害物がある・なしで通信エリアが変わりますのでご注意ください。



②すでに、Wi-Fiがある場合

※Wi-Fi導入前の方もご確認ください

カメラ設置位置でWi-Fiを計測

- ①アプリストアで、「スピードテスト」と検索。Wi-Fi 速度測定の無料アプリのいずれかをインストールします。
- ②カメラ設置位置で、スピードテストのアプリを起動し測定します。
- ③測定値が [-70dBm] 以下の場合は使用できません。安定した通信環境を確保するために [-50dBm] 以上の場所への設置を推奨します。

※端末を、カメラに設定する Wi-Fi の SSID に接続した状態でお試ください。

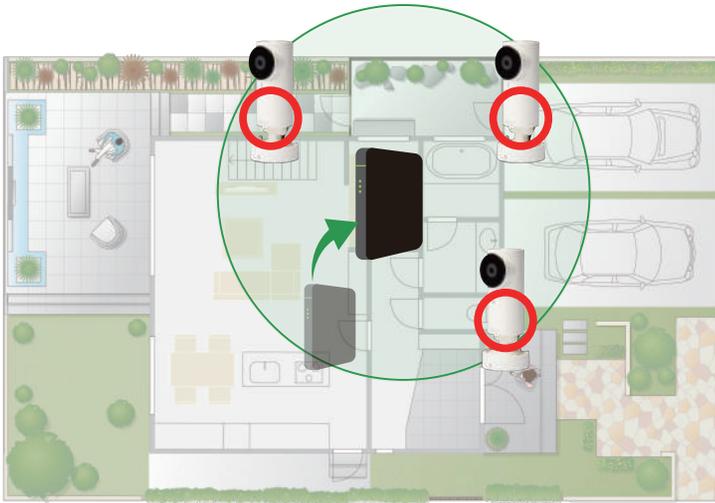
※Wi-Fi の電波は大きく分けて 2.4GHz と 5GHz の 2 種類がありますが、カメラは 2.4GHz のみ使用可能です。速度測定を行う場合は 2.4GHz の Wi-Fi (IEEE802.11b,g,n) に接続した状態で行ってください。

※測定結果と、実際に LEDIUS Cam 設置後の通信速度に差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

※カメラは常時映像データを送信しているため、回線への負荷が高いことから、「1インターネット回線につき最大2台まで」と制限させていただいております。

測定値が低い場合の対応方法

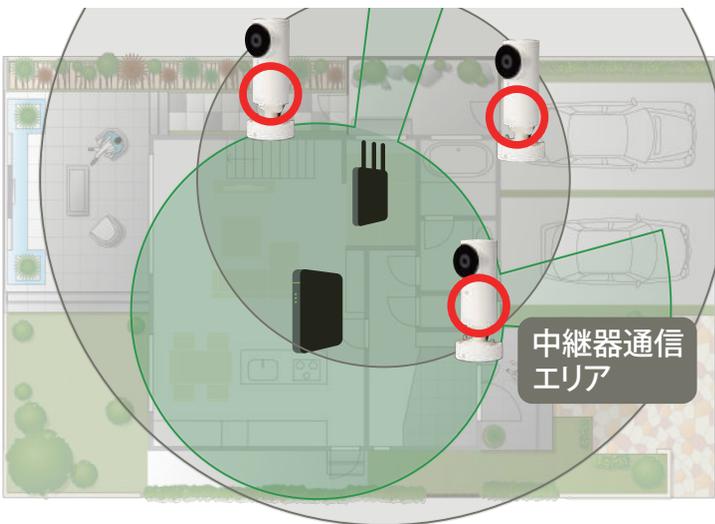
※下記の内容は通信エリアがカメラに届かない、電波強度が弱い場合の対応になります。



対応方法①

ルーターを移動させる

全てのカメラが通信エリア内に納まる位置に移動させる。



対応方法②

中継機を設ける

Wi-Fi ルーターの通信エリア内に屋外用 Wi-Fi 中継機、もしくは市販の中継機を設け、通信距離を拡大する。



中継機推奨スペック

●IEEE802.11g/n タイプ

●ハイパワータイプ

屋外用 Wi-Fi 中継機